



unofficial Translation

プレスリリース
(非公式邦訳)

厳禁

グリニッジ標準時 2008年9月24日 午後5時 (ニューヨーク時間 午後1時、ジュネーブ時間 午後7時、デリー時間 午後10時30分、東京時間 9月25日午前2時)以前に、本プレスリリース、及び報告書の内容を新聞、放送、電子メディアの各媒体で引用、要約してはならない。

UNCTAD/PRESS/PR/2008/028/Rev.1*
Japanese

海外直接投資額は 2007 年がピークか—国連による年次調査

【ジュネーブ・2008年9月24日】国連貿易開発会議 (UNCTAD) が本日発行した『2008年世界投資報告書：多国籍企業とインフラへの挑戦』¹によると、2007年の世界の対内直接投資総額は、前年比30%増で1兆8330億ドルに達し過去最高となった。この額は、2007年後半に始まった世界的な金融危機にも関わらず、これまでの最高額であった2000年の総額を4000億ドルも上回っている (図1参照)。

しかし、世界的な景気後退は海外直接投資活動の減速をもたらすであろうと報告書は述べている。

2007年の海外直接投資の増加傾向はほぼ全ての地域に広がり、先進国、途上国、移行国の各経済圏でその傾向が明らかになった (表1参照) (各地域での傾向については、UNCTAD/PRESS/PR/2008/031~035を参照)。

報告書によると世界の海外直接投資残高は15兆ドルに達した。これは、数にしておよそ790,000の海外子会社を持つ、79,000社にも上る多国籍企業の膨大な事業活動の規模を象徴している。これらの海外子会社の2007年の売上高、付加価値額、輸出額は、前年比でそれぞれ21%、19%、15%増加したと推定されている (表2参照)。

先進国への直接投資の流入額は1兆2480億ドルであった。米国が前年に引き続き最大の受入国となり、英国、フランス、カナダ、オランダがこれに続いた (表2参照)。途上国への直接投資は、前年比で21%の増加となり過去最高 (5000億ドル) に達した。アジア・太平洋地域 (南ア

*問合せ先: UNCTAD Press Office – Tel: +41 22 917 5828, E-mail: unctadpress@unctad.org, インターネット: <http://www.unctad.org/press>.

¹ *World Investment Report 2008: Transnational Corporations and the Infrastructure Challenge (WIR08)* (Sales No. E.08.II.D.23, ISBN: 978-92-1-112755-3) は、US\$95 (開発途上国在住者については50%引き、後発開発途上国在住者については75%引き) で UN Sales Offices、あるいは各国の国連出版物販売委託業者より入手可能。価格は CD-ROM を含んだもので、同報告書のみ、CD-ROM のみの購入、あるいは、大量部数注文の見積もりに関しては以下の宛先まで: (ヨーロッパ、アフリカ、西アジア地域担当) United Nations Publication/Sales Section, Palais des Nations, CH-1211 Geneva 10, Switzerland, Fax: +41 22 917 0027, E-mail: unpubli@un.org; (北米、中南米、東アジア地域担当) United Nations Publications, Two UN Plaza, DC2-853, New York, NY 10017, USA, Tel: +1 212 963 8302, +1 800 253 9646, Fax: +1 212 963 3489, E-mail: publications@un.org, インターネット: <http://www.un.org/publications>

ジア、東アジア、東南アジア及びオセアニア) が途上圏への直接投資の約半分の受け入れ先となった一方、中南米への直接投資が最大の増加率(36%)を記録した。西アジアへの直接投資は数年来増加しつつあり、2004年からはアフリカへの直接投資額を上回っている。しかしアフリカへの直接投資額も過去最高となった。また、後発開発途上国も過去最高の130億ドルに上る対内直接投資を記録した。

先進国の対外直接投資は、これらの国の対内直接投資よりもなお大きく増加し、額で4450億ドル対内直接投資を上回った。米国が世界最大の対外直接投資国としての地位を維持した(図2参照)。途上国も投資源としての重要性を増しつつあり、おもにアジアの企業の海外進出の結果、対外直接投資額は2530億ドルに至った。投資国としては、香港(中国)、ロシア、中国が途上国・移行国の中では上位3位を占めた(図2参照)。

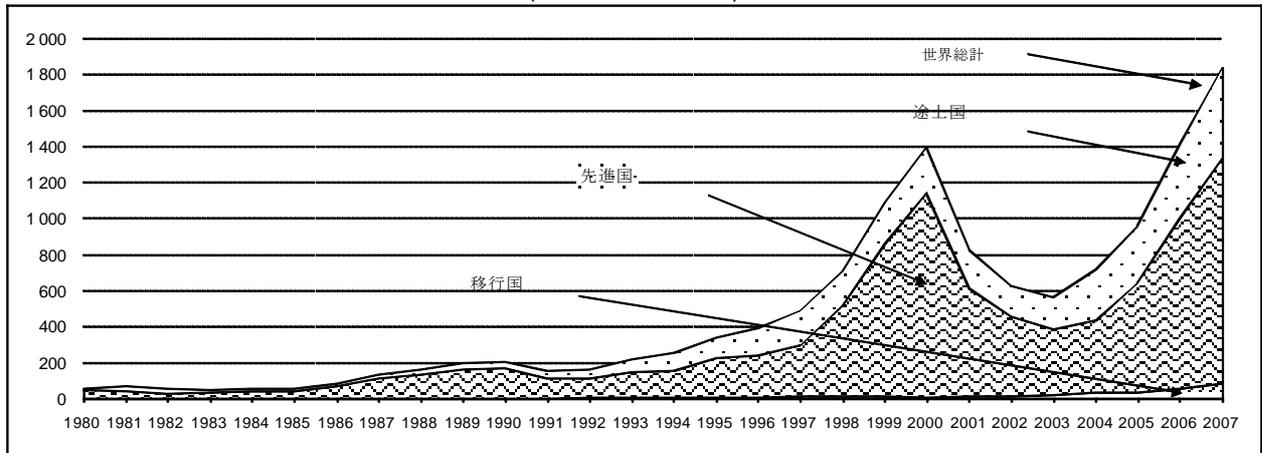
依然として活発な企業の統合・再編の傾向を反映し、過去にない高い水準に達した国境を超える買収・合併の数々が2007年の世界の海外直接投資の増加に大きく貢献した。2007年のこれらの案件の総額は1兆6370億に達し、それまでの最高額であった2000年の額を21%も上回った。プライベート・エクイティ・ファンドの関わった国境を超える買収・合併は、前年比で倍増の4610億ドル(過去最高)に達し、全体の4分の1を超えるに至った。世界の海外直接投資活動における新たな特色としては、政府系投資ファンド(sovereign wealth funds)による直接投資の拡大が挙げられる。政府系投資ファンドの直接投資額はまだ比較的小さいもの、近年増加しつつある(詳細はUNCTAD/PRESS/PR/2008/037参照)。

2007年に米国で明らかになり始めたサブプライム・ローン問題は、金融市場にも影を落とし資金調達コストの上昇に繋がった。しかし、全体としては、この問題の企業の海外進出に及ぼした影響は、2007年の時点では比較的小さかったようである。著しいドル安は米国への直接投資を増進させる役割を果たした。政策の全体的傾向は、引き続き直接投資への経済開放を進める方向にある。UNCTADによる直接投資関連の法律・規制の年次調査は、各国の政策立案者が多国籍企業誘致のため、引き続きそれぞれの国の投資環境を改善させていることを示唆している。台頭しつつある保護主義への懸念と政治的議論が広がりつつはあるものの、UNCTADが確認した100に近い2007年の直接投資関連の政策変更のうち、74は受入国の投資環境の改善を目的としたものであった。

世界経済の景気の後退と金融市場の混乱は、先進国の多くで資金調達をより困難にした。結果として、企業の買収・合併活動には陰りが見え始めている。2008年上半期の買収・合併案件の総額は、2007年下半期に比べて29%の減少となっている。UNCTADの推定では、2008年の世界の直接投資は、前年から10%ほど減少し1兆6000億程になると予測されている。この推定は世界75カ国における第一四半期の直接投資に関するデータを基にしている。途上国への直接投資額は比較的安定して推移するとされている。UNCTAD発行の*World Investment Prospects Survey 2008-2010*は、企業の投資に関する見通しが前年と比べより悲観的になっており、投資支出計画により慎重になっていることを示している(詳細はUNCTAD/PRESS/PR/2008/038参照)。

インターネット上での『世界投資報告書』と同報告書の統計資料の掲載先：<http://www.unctad.org/wir>，
<http://www.unctad.org/fdistatistics>

図 1. 世界総計及び地域別直接投資流入額 1980—2007
(単位：10 億ドル)



出典: UNCTAD 『2008 年世界投資報告書』

表 1. 2005—2007 年 地域別の直接投資
(単位：10 億ドルとパーセント)

地域/経済	対内直接投資			対外直接投資		
	2005	2006	2007	2005	2006	2007
先進国	611.3	940.9	1 247.6	748.9	1 087.2	1 692.1
欧州	505.5	599.3	848.5	689.8	736.9	1 216.5
EU	498.4	562.4	804.3	609.3	640.5	1 142.2
日本	2.8	- 6.5	22.5	45.8	50.3	73.5
米国	104.8	236.7	232.8	15.4	221.7	313.8
その他の先進国	- 1.7	111.3	143.7	- 2.1	78.4	88.3
途上国	316.4	413.0	499.7	117.6	212.3	253.1
アフリカ	29.5	45.8	53.0	2.3	7.8	6.1
中南米	76.4	92.9	126.3	35.8	63.3	52.3
アジア・太平洋	210.6	274.3	320.5	79.5	141.1	194.8
アジア	210.0	272.9	319.3	79.4	141.1	194.7
西アジア	42.6	64.0	71.5	12.3	23.2	44.2
東アジア	116.2	131.9	156.7	49.8	82.3	102.9
中国	72.4	72.7	83.5	12.3	21.2	22.5
南アジア	12.1	25.8	30.6	3.5	13.4	14.2
東南アジア	39.1	51.2	60.5	13.8	22.2	33.5
オセアニア	0.5	1.4	1.2	0.1	0.0	0.1
移行国(南東欧州および独立国家共同体)	31.0	57.2	85.9	14.3	23.7	51.2
南東欧州	4.8	10.0	11.9	0.3	0.4	1.4
独立国家共同体	26.1	47.2	74.0	14.0	23.3	49.9
世界	958.7	1 411.0	1 833.3	880.8	1 323.2	1 996.5
参考：世界合計に対する比率 (%)						
先進国	63.8	66.7	68.1	85.0	82.2	84.8
途上国	33.0	29.3	27.3	13.3	16.0	12.7
移行国	3.2	4.1	4.7	1.6	1.8	2.6

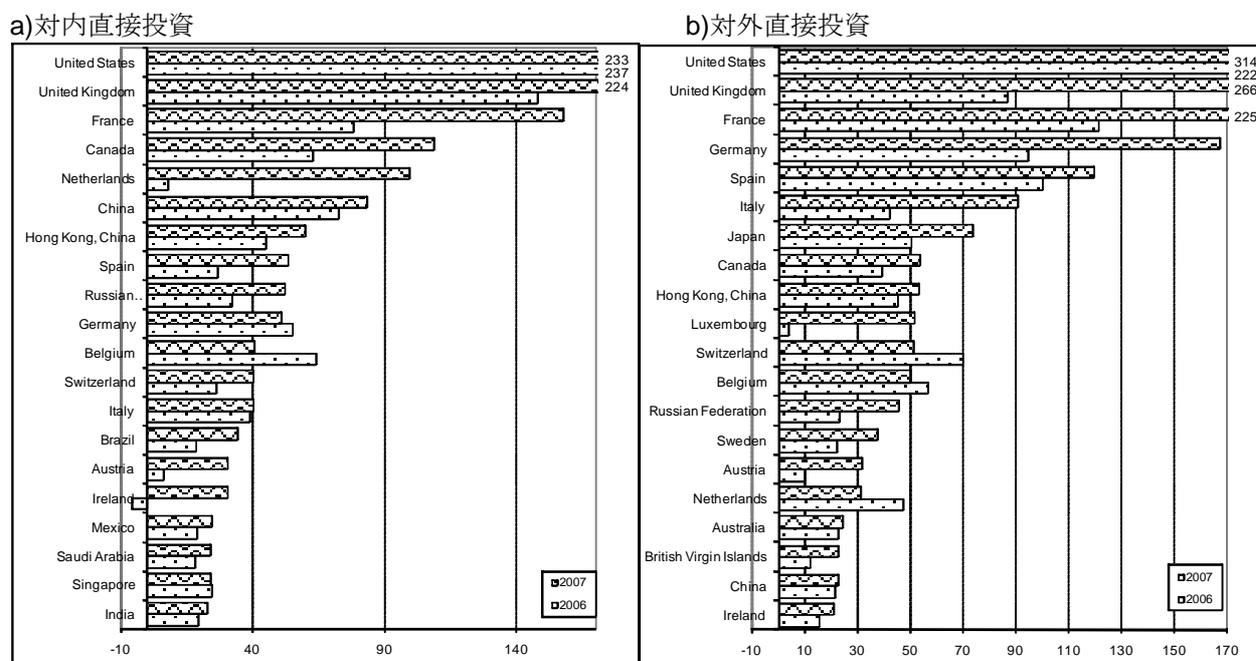
出典: UNCTAD 『2008 年世界投資報告書』

表 2. 1982 年, 1990 年, 2006-2007 年 海外直接投資と国際生産指標
(単位: 10 億ドル)

項目	総額			
	1982	1990	2 006	2 007
対内直接投資額	58	207	1 411	1 833
対外直接投資額	27	239	1 323	1 997
対内直接投資残高	789	1 941	12 470	15 211
対外直接投資残高	579	1 785	12 756	15 602
対内直接投資収入	44	74	950	1 128
対外直接投資収入	46	120	1 038	1 220
国境を超える買収・合併	..	200	1 118	1 637
海外子会社売上高	2 741	6 126	25 844	31 197
海外子会社付加価値額	676	1 501	5 049	6 029
海外子会社総資産	2 206	6 036	55 818	68 716
海外子会社輸出額	688	1 523	4 950	5 714
海外子会社雇用(単位:千人)	21 524	25 103	70 003	81 615
参考				
世界GDP(時価)	12 083	22 163	48 925	54 568
世界固定資本形成総計	2 798	5 102	10 922	12 356
特許権使用料・ライセンス料受領額	9	29	142	164
モノ及び非生産要素サービスの輸出額	2 395	4 417	14 848	17 138

出典: UNCTAD 『2008 年世界投資報告書』

図 2. 2006-2007 年 世界の直接投資上位 20 カ国・地域
(単位: 10 億ドル)



出典: UNCTAD 『2008 年世界投資報告書』
2007 年の直接投資額順